

平成17年度 決算を審査・認定

決算審査の あらまし

12月議会では、2月20日の合併後40日間の17年度一般会計歳入歳出及び国民健康保険特別会計等11の特別会計歳入歳出の決算の審査を行いました。決算審査の方法は、本会議上で議案審議として、12月15日、18日の2日間の日程で、一般会計については、2款毎に、特別会計については、会計毎に審査を行いました。

その中で特に財政上の重要課題は、17億円近い市税の未収解消です。納税負担の公平性の観点からも、基本となる納税義務等の意識の向上に向けた啓蒙活動の一層の推進が必要です。また、これまで実施した効果のあがる様々な未収解消対策のほか、新設された滞納対策室を中心に、一層の充実が図られている。平成18年9月に設立された岩手県地方税特別滞納整理機構と連携して、未収解消へ努力していくことが明らかにされました。

質問 農畜産物等の奥州市ブランドの確立についての考え方はどうなっていますか。

答弁 前沢牛、江刺りんご等全国的に有名な従来からあるブランドを、さらに充実させることが大切であり、その上で、奥州市として新たなブランド確立をはかっていきます。

質問 市内に3か所あるスキー場を今後どのように運営していきますか。

答弁 ひめかゆ、国見平は直営で、越路は委託で運営しているが、いずれも厳しい現状です。行財政改革の中での検討項目にもなっています。競技スポーツとして選手の育成、教育活動としての利用や地域交流等の利用など各スキー場で工夫して運営していきたい。小中学生の利用については、リフト料の減免を行っています。

質問 胆沢平野土地改良区への合併浄化槽からの排水使用料の支払いについて説明して下さい。

答弁 平成16年度までは2200万円、17年度は1600万円、今年度は1200万円支出しています。ほかの土地改良区では排水使用料は受け取っていない状況から、市の立場としては、浄化槽できれいにした排水なので排水使用料は今後の協議が必要です。

質問 消防団、婦人消防協力会の育成の意味からも、研修会や大会参加の旅費を支給すべきではないですか。

答弁 公用車へ相乗りするなど旅費を節約する工夫をして、研修等に参加しています。必要性はよく分かっているが、予算化については検討していきます。

質問 奥州市の教育研究所の現状と今後のあり方について説明して下さい。

答弁 4つの柱で活動しています。1つは教員の研究活動支援、2つは教員の資質向上のための研修、3つは不登校等の問題行動などの相談、4つは教育に関する情報収集や情報発信です。統合してスタートしたばかりですので、今後については、内容を拡充しながら検討を重ねる必要があると思われます。

質問 防災ヘリ連絡協議会負担金の額と防災ヘリの奥州市での出動状況等について伺います。

答弁 17年度は605万5千円、18年度は624万8千円の負担金です。衣川、水沢区の訓練に出動しています。山岳遭難や災害救援時は出動することになっています。

質問 言葉の教室の実態と今後の運営について伺います。

答弁 市内の小学校に7学級設置されています。江刺区において1学級減となっており、児童数が多く指導に苦勞しています。今後、同じような体制で行いたいと考えますが、国の考え方は、LDなど他の特別支援の教室を増加せようとしています。

解説

LDとは…英語のLearning Disabilitiesの頭文字を取ったもので、日本では一般に学習障害と訳されています。学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものです。

特別会計決算審査

質問 国保税の減免の基準について伺います。

答弁 減免の3つの要件は、災害を受けた場合、著しく生活が困難な場合、市長が特別な事情と認めた場合となっています。生活保護を受けている者及びこれに準じる者等は減免の対象となります。

質問 国保税の滞納にかかわる資格証明書と短期被保険者証の発行状況について伺います。また、資格証明書の発行は、人命にもかかわることなので、全廃すべきではないですか。

答弁 資格証明書の発行は、17年度102世帯、18年度(10月末)86世帯、短期被保険者証は17年度844世帯、18年度(10月末)321世帯です。発行数は減るにしても、資格証明書の発行は今後も行い、税の滞納を少なくしてまいります。